

■ Investree: Adrian Gunadi - CEO [investree.id](https://investree.id)

■ 分野：フィンテック、P2P レンディング ■ 資金調達ラウンド：シリーズ B



Investree は中小企業向け融資プラットフォームを提供する、インドネシアを代表する B2B 型マーケットプレイス。テクノロジーとデータを活用し、個人、機関融資家と小規模事業者をつなぎ、事業資金融資獲得の場を提供することをミッションとしている。インドネシア金融サービス庁（OJK）からの事業ライセンス取得済み。インドネシアをベースとしているが、既にタイで事業を開始し、間もなくフィリピンにて展開を予定するなど、アジアへの展開にも意欲的である。



■ Koinworks: Willy Arifin - Co founder [koinworks.com](https://koinworks.com)

■ 分野：フィンテック、P2P レンディング ■ 資金調達ラウンド：シリーズ B



Koinworks はインドネシアにてレンディングサービスを提供するフィンテック企業。革新的なマシンラーニング技術を活用し、投資家と借り手をつなぐ最先端の P2P プラットフォームを提供している。投資家は 100,000 インドネシアルピア（約 800 円）から投資をすることが出来、37 万人の個人や小規模事業者は低利子の融資を申し込むことが可能。インドネシア金融サービス庁（OJK）からの事業ライセンス取得済み。2019 年 Asian Banker Financial Innovation Award 受賞。



■ Halodoc: Jon Richards - CFO [halodoc.com](http://halodoc.com)

■ 分野：ヘルステック ■ 資金調達ラウンド：シリーズ C



HaloDoc は、インドネシア国内においてオンライン医療相談や医薬品配送サービスなどを提供する、国内最大規模のオンライン医療スタートアップ。19,000 人の登録医師と 1,000 の提携薬局を患者とつなぎ、ApotikAntar（※医薬品専門の EC サイト）を通じて医薬品のデリバリーサービスを提供する。患者は医療のプロフェッショナルとチャット、ビデオ通話、電話でコミュニケーションを取ることが出来る。Gojek から出資を受けている。



■ TaniHub: Pamitra Wineka - Co founder [tanifund.com/](http://tanifund.com/)

■ 分野：農業マーケットプレイス、クラウドレンディング

■ 資金調達ラウンド：シリーズ A



TaniHub は、農業分野に特化した B2C の E コ머스プラットフォームとして創業し、その後、2017 年にビジネスの領域をクラウドレンディングの分野へ拡大。一次生産者（農家）と店舗を直接つなぐことで、仲買人の中間マージンを無くし、農家の収益向上と流通改革に貢献する。また、TaniFund というファンドを通じ、未開拓の地方農村市場向けに、ファンドの貸付サービスを提供する。TaniFund は P2P（Peer to Peer）レンディングの仕組みを通じ、仲介人（仲介料）を必要としない直接融資を実現するサービスである。借り受ける側の農家は、貸し手側の企業



と直接つながることで、信頼性・透明性の高い借入れが可能となる。

■ Snapcart: Reynazran Royono – Founder

[snapcart.global](https://snapcart.global)

■ 分野：ビッグデータ ■ 資金調達ラウンド：シリーズ B



Snapcart は AI を適用して、新興市場のユーザーの最も豊富なオフラインデータベースを構築し利用可能な状態にできる。具体的にはレシートクラウドソーシングアプリケーションとレシートを処理および解読する機械学習モデルにより、Snapcart は個々の買い物客および小売業者レベルで数十億のデータポイントをリアルタイムで収集および処理できる。それを活用しブランドや小売業者は広告とプロモーション、ターゲット設定を最適化できるようになる。現在、インドネシアとフィリピンのロレアル、Nestle、P&G、および Unilever を含む 30 以上の企業にサービスを提供している。



■ Cashlez: Teddy Tee Setiawan – Founder

[cashlez.com](https://cashlez.com)

■ 分野：フィンテック、決済サービス ■ 資金調達ラウンド：シリーズ A



Cashlez はインドネシアのフィンテック企業であり、mPOS（エムポス）によるキャッシュ決済サービスを提供する。ユーザーは、スマートフォン（アンドロイドおよび iOS）のアプリ、ならびに専用のカードリーダーを利用し、スマートフォンの端末から、ブルートゥースを経由し、簡単にキャッシュレス決済（クレジットカード、デビットカード）ができる。また同システムは、リアルタイムで、自身のビジネスによる売買取引の状況を確認できるた



め、利便性が高い。今日のインドネシアにおいて、キャッシュレスの決済サービスの普及を推進する有カプレイヤーである。

■ HarukaEDU: Novistiar – CEO [harukaedu.com](http://harukaedu.com)

■ 分野：エドテック（教育） ■ 資金調達ラウンド：シリーズC



HarukaEdu は、世界におけるオンライン教育の急速な成長に呼応して、2013年に設立。質の高いオンライン教育を低コスト・低リスクで受けられるサービスを提供し、大学など高等教育の場で活用されている。インドネシアの学生たちに、質が高くかつ手ごろ価格で利用できるオンライン教育を提供し、若者たちに明るい未来を届けることを理念として掲げている。



■ Dekoruma: Dimas Harry Priawan – CEO/CoFounder [dekoruma.com](http://dekoruma.com)

■ 分野：ホーム&リビング マーケットプレイス ■ 資金調達ラウンド：シリーズC



Dekoruma は、小売り、インテリアデザイン、不動産仲介など住関連のサービスを提供するインドネシア最大のプラットフォーム。Dekoruma は 10 万を超える取扱いアイテムと 1000 を超えるデザイナー・内装会社、数十に及ぶ不動産開発業者とのパートナーシップを有している。Keppel Land, Ciputra など著名な顧客を抱え、これまでに 2,000 以上の住居・商業施設のプロジェクトを手掛けた実績を持つ。住宅開発アプリケーション“SOMA”を活用して 3D デ



ザインやプロジェクトマネジメントを行うことで、デザイン・建設に要する時間を 50%短縮させることに成功、また価格の透明性担保と適切な在庫管理を可能とした。

■Kata.Ai: Irzan Raditya – CEO [kata.ai](https://kata.ai)

■分野：AI、チャットボット ■資金調達ステージ：シリーズA



Kata.ai は、人工知能による言語処理開発のスタートアップであり、人間の会話の理解を深め、人間と機械の協業方法を改善することに重点を置いている。フォーチュン 500 に名を連ねるグローバル企業を含む金融サービス、テレコミュニケーション、小売、自動車など、様々な業種の 100 社を超える顧客に対して、自然言語処理テクノロジーを用いたサービスを提供している。同社独自の言語プラットフォームは 5 億件以上の会話を処理し、顧客サービス、セールス&マーケティングから HR までのさまざまな機能でデジタルインタラクションを強化するために企業に活用されている。2019 年の経常収益及び顧客数は前年比 5 倍に成長している。



■Travelio: Hendry Rusli – CEO/CoFounder [travelio.com](https://travelio.com)

■分野：旅行宿泊施設、賃貸物件、財産管理 ■資金調達ステージ：シリーズB



Travelio は、インドネシアナンバーワンのアパート、ヴィラ、住宅の短期レンタルおよびオンライン不動産管理プラットフォームである。そのプラットフォームにより、不動産所有者と利用者を結び付け、利用者はオンラインで家具付きの家、別荘、およびアパートを閲覧および予約することができる。

